

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(溢水防護)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		会合 資料番号	図書種別、 図書番号	図書名称	該当頁					
1	2019/10/29	資料1-3	審査会合資料	島根原子力発電所2号炉 溢水による損傷の防止等	P.1197~1201	屋外タンク等のうち、基準地震動Ssに対して機能維持しているもの(区分A)については、溢水につながる損傷モードの検討も含め、詳細設計段階で基準地震動Ssによる耐震評価結果を示すこと。	今回回答	基準地震動Ssに対してバウンダリ機能が保持できることを前提とした屋外タンク等について、耐震評価結果及び地震による損傷形態を踏まえ、溢水評価への影響がないことを記載しました。	NS2-補-015 改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-69~71(通し頁P.126~128)	

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(溢水防護)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/3/1	NS2-添1-032(比)	比較表(VI-1-1-9-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)	P.15	「元弁の閉止する運用」について、記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)元弁の閉止する運用 (新)元弁の閉止運用	NS2-添1-032 改01「VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針」P.6 NS2-添1-032 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)」P.15	
2	2022/3/1	NS2-添1-032(比)	比較表(VI-1-1-9-1)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)	P.27	被水防護カバーについて、「溢水伝播を防止する機能を維持する」としているが、記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)溢水伝播を防止する機能 (新)被水影響を防止する機能	NS2-添1-032 改01「VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針」P.11 NS2-添1-032 改01(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-9-1 溢水等による損傷防止の基本方針)」P.27	
3	2022/3/1	NS2-添1-033	施設共通説明書	VI-1-1-9-2 防護すべき設備の設定	P.78	溢水防護区画について、吹き抜け部は区画番号を採番しておらず、溢水防護対象区画に設定していないことが分かるように記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	図2-1(1/14)について、吹き抜け部だと分かるよう、吹き抜け部には斜線処理し、記載を適正化しました。	NS2-添1-033 改01「VI-1-1-9-2 防護すべき設備の設定」P.78	
4	2022/3/1	NS2-補-015	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.73	「他の機器で代替できる設備」を理由に溢水評価対象外とする設備について、代替する他の機器との関係を説明すること。	2022/5/19	他の機器で代替できる設備について、代替する他の設備との関係が分かるよう追記しました。	NS2-補-015 改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.1.2-16(通し頁P.87)	
5	2022/3/1	NS2-補-015	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.13.41	溢水防護対象設備と重大事故等対処設備の機能喪失高さの有効数字が相違しているため、適正化して説明すること。	2022/5/19	機能喪失高さの有効数字は小数点2桁とし、表1.1-2の機能喪失高さの記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.1.1-6~33(通し頁P.12~39)	
6	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.118	応答スペクトル手法に基づく地震動であるSs-Dを用いているため、3方向入力ではなく、「NS方向+UD方向の解析」と「EW方向+UD方向の解析」の溢水量を組み合わせていることを説明すること。また、この溢水量の組み合わせが保守的であることが分かるように記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	応答スペクトル手法に基づく地震動であるSs-Dを用いているため、3方向入力ではなく、「NS方向+UD方向の解析」と「EW方向+UD方向の解析」を実施していることをそれぞれ追記し、解析評価の内容が分かるように記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-2(通し頁P.89)	
7	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.118	ハウズナー理論により算出したスロッシング周期について、計算に用いた数値及び得られた周期の結果がわかるように記載を適正化して説明すること(他のプールも同様)。	2022/5/19	燃料プール、原子炉ウエル、DSP、サイトバンカ貯蔵プール及び輪谷貯水槽のハウズナー理論により算出した固有周期について、計算に用いた諸元と算定した固有周期の結果が分かるよう表を追記し、記載を適正化しました。	NS2-補-015 改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-1,17,28(通し頁P.88,104,115)	
8	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.121	図7.3-3について、グラフが不鮮明なため、記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	図7.3-3について、グラフが鮮明になるよう適正化しました。また、原子炉ウエル及びDSPの固有周期を追記しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-5(通し頁P.92)	
9	2022/3/15	NS2-補-015改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.123	図7.3-5に記載されている埋設ダクトについて、解析上どのように考慮しているか説明すること。	2022/5/19	埋設ダクトに流入した水はプールに戻らないよう設定していることが分かるよう表7.3-2及び表7.3-3の記載を適正化しました。本修正に伴い「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」の表2-10及び表2-12も適正化しました。	NS2-添1-034 改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13.15 NS2-補-015 改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-3(通し頁P.90)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
10	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	溢水水位について、算出過程がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	溢水水位の計算過程について、算出した計算式及び考慮した滞留面積が分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-15,16(通し頁P.102,103)	
11	2022/3/15	全般	全般	全般	全般	解析モデルに対して、高さ(EL)、初期水位、寸法、座標等の諸元がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	解析モデル等、各図表に必要な諸元(高さ(EL)、初期水位、寸法及び座標)が分かるよう記載を適正化しました。また、本修正を「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」に展開し、関連する図表を適正化しました。	NS2-添1-034改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13,15,16,17 NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-4,7,8,19,22,23,30,33,34(通し頁P.91,94,95,106,109,110,117,120,121)	
12	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.136	表7.3-9の滞留面積について、考慮した範囲がわかるように、堰の位置を示した上で説明すること。	2022/5/19	表7.3-9の滞留面積について、考慮した範囲及び堰との位置関係が分かるよう図7.3-13に反映し、記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-15,7.3-16(通し頁P.102,103)	
13	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.140	図7.3-15について、上部空間がわかるよう記載を適正化して説明すること(輪谷貯水槽も同様)。	2022/5/19	図7.3-18及び図7.3-25について、上部空間が分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-23,34(通し頁P.110,121)	
14	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.146	図7.3-19について、初期水位、プール上端位置及び初期水位からの最大水位の関係がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	サイトバンク貯蔵プールの初期水位とプール上端位置の標高を記載した寸法図を追加し、最大波高時間近傍における液面状態の図については、初期水位からの最大水位であること、初期水位とプール上端位置の標高は寸法図を参照することが分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-22,26(通し頁P.109,113)	
15	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.154	図7.3-25の最大水位について、基点となる位置がわかるよう記載を適正化して説明すること。	2022/5/19	最大波高時間近傍における液面状態の図については、初期水位からの最大水位であること、初期水位とプール上端位置の標高は寸法図を参照することが分かるよう記載を適正化しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-36(通し頁P.123)	
16	2022/3/15	NS2-添1-034	施設共通説明書(VI-1-1-9-3)	VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定	P.19	土石流によるタンク損傷によりプラントへ与える影響がないとする理由を説明すること。	2022/10/6	「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」、土石流による屋外タンク等からの溢水評価を実施し、防護すべき設備に影響がないことを記載しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-32~59(通し頁P.198~225)	
17	2022/3/15	NS2-補-015改 02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127,128	1.3項及び1.4項で記載すべき事項を整理し、説明すること。	2022/5/19	本資料はスロッシングによる溢水量の算出について補足説明する資料であることから、「1.4 燃料プールのスロッシング後の冷却機能及び遮蔽機能維持の確認」については、説明書「VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価」に記載することとし、本資料からは記載を削除しました。	NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.7.3-14(通し頁P.101)	
18	2022/3/15	全般	全般	全般	全般	数値や図の引用が適切にされていることを確認し説明すること。	2022/5/19	固有周期算定に用いた数値を記載し、また、モデル図、寸法図に初期水位、プール壁上端、底面EL等の関連数値を追記することで、資料内の数値及び各図表について、記載元から適切に引用されていることを確認できるように、記載を適正化しました。	NS2-添1-034改01「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」全般 NS2-補-015改03「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」全般	
19	2022/3/15	NS2-添1-036	施設共通説明書(VI-1-1-9-5)	VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計	P.23	図4-17について、弁の開閉状態を適正化して説明すること。	2022/5/19	図4-17の過塩装置バイパス弁の開閉状態について、「開」に修正しました。	NS2-添1-036改01「VI-1-1-9-5 溢水防護に関する施設の詳細設計」P.23	
20	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.113	VOF値0.5について、確認して説明すること。また、最大水位の算出方法を確認して説明すること。	2022/10/6	VOF値0.5は、計算格子における水と空気の割合が50:50であり、VOF値0.5で気液界面(水面)を定義した場合、水面の高さは計算格子の中心と一致します。また、最大水位の算出は、VOF値0.5の最大高さとしています。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-31(通し頁P.121)	
21	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.96	埋設ダクト流入量について、時刻歴データを追加して説明すること。	2022/10/6	図4.3-11及び図4.3-12に、埋設ダクト流入量の時刻歴データを追加しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-12,13(通し頁P.102,103)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
22	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.88,104, 115	ハウズナー理論によるスロッシングの固有周期の計算方法について、確認して説明すること。	2022/10/6	原子炉ウェルのスロッシング固有周期の算定には、円筒の式を使用しており、矩形の式に加えて円筒の式を追記しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-2(通し頁P.92)	
23	2022/5/19	NS2-補-015改 03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.101 他	埋設ダクトの容積と流入量の関係を記載して説明すること。	2022/10/6	埋設ダクトの容積に対し、埋設ダクトへの流入量の方が大きく、埋設ダクトへの流入を考慮しない方が、原子炉建物4階への溢水量が大きくなるため、埋設ダクトに流入しない条件でスロッシング解析を実施し、溢水量を算出しました。なお、燃料プールの水位低下については、埋設ダクトを考慮した方が低下量が大きくなるため、埋設ダクトに流入する条件での溢水量を用いています。	NS2-添1-034改03「VI-1-1-9-3 溢水評価条件の設定」P.13~17 NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-5.7~20(通し頁P.95.97~110)	
24	2022/6/23	NS2-補-020改 15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.269	敷地流動解析の解析コード、解析手法、条件等を説明すること。	2022/10/6	敷地流動解析の解析コード、解析手法、条件等について、「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」に記載しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-6.7,34,35(通し頁P.172,173,200,201)	コメント移動
25	2022/6/23	NS2-補-020改 15	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.269	敷地流動解析において、輪谷スロッシング水及びタンクの喪失をどのように模擬しているか説明すること。	2022/10/6	敷地流動解析の輪谷スロッシング水及びタンクの喪失をどのように模擬しているかについて、「補足説明資料6.2 屋外タンク等からの溢水評価」に記載しました。	NS2-補-015改07「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-6~8,34~36(通し頁P.172~174,200~202)	コメント移動
26	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.198	輪谷貯水槽(西側)のコンクリート構造の密閉式貯水槽が溢水しない理由と輪谷貯水槽の構造を図面等で整理して説明すること。	今回回答	輪谷貯水槽(東側)は天端が開閉しており、土石流が貯水槽に流入するため溢水源とするが、輪谷貯水槽(西側)は天端が開閉しておらず、かつ土石流に対して「バウンダリ」機能が保持できることを確認するため溢水源としないことを記載しました。	NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-32.72~98(通し頁P.89,129~155)	
27	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.176~ 178	掘削エリアを考慮した屋外溢水の状況を説明するとともに、掘削エリアに流入した場合の影響を整理して説明すること。(浮力による浮上り、最大浸水深等)	今回回答	屋外タンク等の破損により生じる溢水が掘削箇所の地面面(EL.8.5mまたはEL.15.0m)まで滞留すると想定した場合の影響を評価し、溢水が溢水防護区画に伝播しないことを確認しました。浮力による土木構造物の浮き上がりについては回答整理表(安全対策工事に伴う掘削による影響)のNo.1で回答済みです。	NS2-添1-035改03「VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価」P.50,54,55 NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-60,61(通し頁P.117,118)	
28	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.108	燃料プールの水位低下量と溢水量について、計算過程を説明すること。	今回回答	燃料プールのスロッシング後の評価結果を示した表2-4において、水位低下量との関係が分かるよう地震後の燃料プール水位の算出過程を注記に追記しました。	NS2-添1-035改03「VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価」P.44	
29	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.92 他	スロッシング固有周期の算出方法を整理して説明すること。	今回回答	ハウズナーの式の表記を、JEA記載のものに変更しました。また、矩形に対するハウズナーの式において、JEA記載のとおり、振動方向長さと底面から液面までの高さの関係を考慮し、記載の固有周期を再計算した値に修正しました。	NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-2.23(通し頁P.10,31)	
30	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.113	固有周期の計算における液面までの高さの根拠を整理して説明すること。	今回回答	底面から液面までの高さhを、サイトバンカ貯蔵プールにおけるhとして算定した固有周期を追記しました。計算結果はより長周期側となり、NS方向で+0.68秒、EW方向で+0.05秒と有意な差はありませんでした。	NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-23(通し頁P.31)	
31	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.167	遮蔽壁に貯留した水のスロッシングの考え方を整理して説明すること。	今回回答	CST等及び重油タンク等に接続している配管の破断を想定し、基準地震動Ssによる地震が収束する60秒後時点の溢水量を求め、スロッシングの影響を確認しました。CST等については遮蔽壁内の溢水が屋外配管ダクトへ流入すること、重油タンク等については溢水水位が防油埋地端高さに対して十分に余裕があることから、スロッシングの影響による敷地への流出の可能性は小さいことを確認しました。	NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.6.2-70,71(通し頁P.127,128)	
32	2022/10/6	NS2-補-015改 07	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.120	溢水量が減少している理由を確認して説明すること。	今回回答	サイトバンカ貯蔵プールからフロアに溢した水が、プール内に戻ったことを示していることがわかるように、図4.3-23の(1)に注記を追記しました。解析モデルとしては、サイトバンカ貯蔵プールとフロアをモデル化しており、スロッシングによりプールからフロアに溢した水が、プールに戻ることで溢水量が減少します。	NS2-補-015改09「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.4.3-30(通し頁P.38)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(溢水防護)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～157について、NS2-他-123改03で整理済みのため省略。						
158	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	目次	資料修正に伴うページ番号の変更を反映しました。	2023/1/18	
159	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.54	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋外タンク等からの溢水が溢水防護区画内へ伝播することがなく、また、建物外に設置されている防護すべき設備は、要求される機能を損なうおそれがないこと。 (新)屋外タンク等からの溢水が溢水防護区画へ伝播することがなく、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがないこと。	2023/1/18	
160	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.54	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水処置を実施しているため (新)止水処置を実施するため	2023/1/18	
161	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.55	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)建物間の接合部にはエキスパンションジョイント止水板が設置されているため、溢水防護区画への伝播はない。 (新)建物間の接合部にはエキスパンションジョイント止水板を設置するため、溢水防護区画への伝播はない。	2023/1/18	
162	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.55	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)建物外に設置されている防護すべき設備 (新)建物外に設置している防護すべき設備	2023/1/18	
163	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.55	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防水壁及び水密扉を設置しており、防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。 (新)防水壁及び水密扉を設置するため、溢水防護区画への伝播はない。	2023/1/18	
164	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.55	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)防水壁を設置しており、防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。 (新)防水壁を設置するため、溢水防護区画への伝播はない。	2023/1/18	
165	NS2-添1-035改03	VI-1-1-9-4 溢水影響に関する評価	P.55	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)外壁に設置された扉の設置位置が高いことから、防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。 (新)外壁に設置された扉の設置位置が高いことから、溢水防護区画への伝播はない。	2023/1/18	
166	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	全般	分かりやすさの観点から、各資料の項番を見直し修正しました。	2023/1/18	
167	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.3.5	補足説明資料名を適性化しました。(下線部参照) (旧)7.8 鉄筋コンクリート壁の止水性 (新)7.8 鉄筋コンクリート壁の水密性	2023/1/18	
168	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.8	新設する高エネルギー配管について、以下の通り記載を適性化しました。(下線部参照) (旧)破損想定不要とする高エネルギー配管及び低エネルギー配管に有意な減肉が生じていないことが確認できること (新)破損想定不要とする低エネルギー配管に有意な減肉が生じていないことが確認できること、また、新設する高エネルギー配管は有意な減肉が生じないよう減肉の進展を確認すること	2023/1/18	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
169	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.10	表4.3-1において、固有周期の算定に用いたハウスナーの式を修正しました。振動方向長さ l と底面から液面までの高さ h の関係を検討し、記載の固有周期を再計算した値に修正しました。(下線部参照) (旧)燃料プールのNS方向4.24, 燃料プールのEW方向4.16, 原子炉ウエル3.51, DSPのEW方向3.08 (新)燃料プールのNS方向4.26, 燃料プールのEW方向4.18, 原子炉ウエル3.52, DSPのEW方向3.10	2023/1/18	
170	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.10,31,42	表4.3-1, 13, 17において、振動方向のプール幅の1/2の記号を適正化しました。また、底面から水面までの高さの記号の書体を他の記号にあわせて変更しました。 (旧) l, h (新) L, h	2023/1/18	
171	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.15	表4.3-3及び表4.3-4に示す埋設ダクト容量が、埋設ダクト流入量の算出に関係ないことが分かるよう注記を追記しました。	2023/1/18	
172	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.18	図4.3-10について、「液面高さ(基準水面)」を図4.3-9と同様に「初期水位(HWL)」に修正しました。 (旧)液面高さ(基準水面) (新)初期水位(HWL)	2023/1/18	
173	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.30	4.3.2(1)a.項の10行目において、文章を適正化しました。(下線部参照) (旧)Sd地震動の1/2を考慮した。 (新)Sd地震動の1/2を用いた。	2023/1/18	
174	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.31	表4.3-13において、振動方向長さ l と底面から液面までの高さ h の関係を検討し、記載の固有周期を再計算した値に修正しました。(下線部参照) (旧)EW方向4.08 (新)EW方向4.11	2023/1/18	
175	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.31	表4.3-13において、底面から液面までの高さ h を、サイトバンカ貯蔵プールにおける h として算定した固有周期を追記しました。また、断面寸法にサイトバンカ貯蔵プールの h として、寸法を追記しました。	2023/1/18	
176	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.58	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋外タンク等の破損により生じる溢水が溢水防護区画内へ伝播することがなく、また、建物外に設置されている防護すべき設備は、要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。 (新)屋外タンク等の破損により生じる溢水が溢水防護区画へ伝播することがなく、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。	2023/1/18	
177	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.58,69,89,97,119,123	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設置されて (新)設置して	2023/1/18	
178	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.59,120	フロー図に条件分岐を追加し、スロッシングによる溢水を考慮する屋外タンク等をフロー図で判別できるように修正しました。	2023/1/18	
179	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.63	輪谷貯水槽(東側)のスロッシング解析の時刻歴結果の呼び込みを記載しました。	2023/1/18	
180	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.67,95	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)溢水が溢水防護区画へ伝播することなく、また、建物外に設置されている防護すべき設備は、要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。 (新)溢水が溢水防護区画へ伝播することなく、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。	2023/1/18	
181	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.68,77,96,105	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)止水処置を実施しているため (新)止水処置を実施するため	2023/1/18	
182	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.69,96	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)建物間接合部にはエキスパンションジョイント止水板等が設置されているため、本経路から溢水防護区画への伝播はない。 (新)建物間接合部にはエキスパンションジョイント止水板等を設置するため、本経路から溢水防護区画への伝播はない。	2023/1/18	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
183	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.69,97	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)建物外に設置されている防護すべき設備としては以下があるが、これらに対する溢水経路は地表部からの直接伝播となる。 (新)建物外に設置している防護すべき設備としては以下があるが、これらを設置している溢水防護区画への溢水経路は地表部からの直接伝播となる。	2023/1/18	
184	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.69,97	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)ディーゼル燃料移送ポンプエリア防護対策設備北側水密扉及び南側水密扉を設置しており、また、 (新)ディーゼル燃料移送ポンプエリア防護対策設備北側水密扉及び南側水密扉を設置するため、 <u>溢水防護区画への伝播はない。</u>	2023/1/18	
185	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.69,97	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)扉の設置位置(敷地高さ(EL15.0m)から0.35m)の方が高いことから、防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。 (新)扉の設置位置(敷地高さ(EL15.0m)から0.35m)の方が高いことから、 <u>溢水防護区画への伝播はない。</u>	2023/1/18	
186	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.69,97	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)取水槽海水ポンプエリア防護対策設備防水壁を設置しており、防護すべき設備は要求される機能を損なうおそれがない。 (新)取水槽海水ポンプエリア防護対策設備防水壁を設置するため、 <u>溢水防護区画への伝播はない。</u>	2023/1/18	
187	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.119	以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)バウンダリ機能が保持できる密閉式貯水槽を設置するため (新)バウンダリ機能が保持できる貯水槽を設置するため	2023/1/18	
188	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.121,127	2号補助復水貯蔵タンク及び2号トラス水受入タンクの保有水量の変更(200m ³ →180m ³)を反映しました。	2023/1/18	
189	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.126	以下を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋外タンク等の破損により生じる溢水が溢水防護区画内へ伝播することがなく、 <u>建物外に設置されている</u> 防護すべき設備は、要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。 (新)屋外タンク等の破損により生じる溢水が溢水防護区画へ伝播することがなく、防護すべき設備が要求される機能を損なうおそれがないことを確認する。	2023/1/18	
190	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	溢水水位の有効数字は小数点2桁とし、防油堤に滞留する溢水水位の記載を適正化しました。	2023/1/18	
191	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	復水貯蔵タンクエリアの溢水量変更に伴い、復水貯蔵タンクエリアの溢水水位を修正しました。	2023/1/18	
191	NS2-補-015改09	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.127	復水貯蔵タンクエリアの溢水水位の変更に伴い、遮蔽壁天端に対する溢水水位の裕度を修正しました。	2023/1/18	